

予算 常任委員会

付託案件 14件

補正予算審査報告

議案第16号

問 全体的に減額補正が細かいところまでされている理由は。

答 監査委員から、不用額は可能な限り減額するとように指示を受けています。

全員賛成で可決

議案第17号

問 高額療養費1500万円の要因は。

答 医療費の高騰と高額のリセプト、重病の方がおられたことの確認もしております。

全員賛成で可決

議案第18号

問 12月議会に消費税未払い分5年分の補正が通ったが、不用額の減額理由は。

答 令和4年からの未申告加算税で5%、15%の幅があり、予算時は15%を見ていたが、5%で済み、減額となりました。

全員賛成で可決

議案第19号

議案第20号

議案第21号

全員賛成で可決

当初予算審査報告

議案第23号

問 補助費が約3億円増のうち一般財源で約2億円の増額となっている理由について。

答 国スポ・障スポ実行委員会負担金で、前年度予算と比較すると1億9994万2000円の増額となります。それと広域行政組合負担金が必要となります。

問 公債費の増額理由。

答 令和7年度予算は投資的事業があるため、地方債に依存していますが、地方債は15年償還のうち3年は据え置き期間で利息だけを払

います。財務会計システムでシミュレーションを行い、極端に元金償還が上がる年度がないようにしています。

問 国の普通交付税の5000万円減額理由。

答 交付税は、基本税収と交付税で算定する財政需要が湖南市にどれだけあるかを積み上げていき、需要と収入の差額を交付税として予算措置します。令和7年度は、高齢化率の上昇等で需要が伸び、物価高騰等で基準財政収入額も伸び、その差が縮まって交付税が減額となっています。

問 マイナンバーカードの保有枚数率とその普及啓発について。

答 令和7年1月末現在で、保有枚数が4万1356枚で保有枚数率は約76%です。電子証明書の更新並びにカード本体の更新時期を迎え、国から3か月前に通知が来ますの

で、随時更新手続きを進めています。未所持の方のサポートは、窓口での申請補助、高齢者等には、居宅訪問を実施。昨年度4か所のまちづくりセンター等で出張申請窓口も開設。

問 キャッシュレス決済対応のセルフレジ導入について。

答 まず、東庁舎会計課での証明書の手数料を対象と考えています。キャッシュレス決済の区分については、多岐にわたるため1つ1つのサービスに対して契約をしていく手法になります。

問 庁舎整備基本設計業務及び庁舎整備発注者支援業務に係る委託料1億1050万円に

関して、なぜ庁舎整備基金を活用しないのか。

答 財政課とも検討しましたが、物価高騰や人件費が高騰する中で、現状の庁舎整備基金では、事業を実施する段

階での一般財源の補填する財源が十分確保できないという判断のもと、大幅な財源負担がかからない状況であれば、一般財源で予算を組む方向とし、今回は充当していません。

問 下田こども園改築事業費について。

答 令和7年度に6億円、令和8年、9年度に4億円として、解体費用、園庭、駐車場の整備も含めて10億円を計上。施設規模は、令和7年度園児総数82人で、今後、約70人の規模と考え、法的に定められている面積基準で700平米ぐらいと想定していますが、今後設計監理業務委託の中で検討していきます。

問 事業者支援戦略的トータルプロモーション業務委託の減額理由。

答 人気のあった返礼品が今年度10月から国の基準で認定が出来なくなり、また、今年度

の実績を考慮しました。

問 一人一台端末の購入費について。

答 税抜き価格6万3000円の4960台、税金をかけて3億4372万8000円です。児童・生徒数分で4303台教職員分442台予備機215台です。

問 带状疱疹ワクチンの定期接種について。

答 生ワクチンは接種回数1回で効果期間は5年間、不活化ワクチンは接種回数2回で効果期間は10年です。3割程度の自己負担（高齢者含む）が生じ、生ワクチンが一人2500円。不活化ワクチンは、1回接種に付き6500円です。

議案第24号

問 公費多額の要因は。

答 一人当たりの費用額が県内19市中一番高く、入院が9.44%の伸びで精神疾患や虚血